

## 兵庫県芸術文化協会

(公財)兵庫県芸術文化協会文化振興部  
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町  
1丁目5番7号 神戸情報文化ビル2F  
Tel.078-321-2002  
編集・発行人/谷口賢行  
(公財)兵庫県芸術文化協会理事長

HP Site



Facebook

公式SNS やっています!



X (旧 Twitter)



YouTube



Instagram

462号

2025年  
12月号

題字: 井茂圭洞 (書家・文化勲章受章者)

第31回

## 兵庫ふれあい美術展を開催



「兵庫ふれあい美術展」は、兵庫県内に在住・在勤・在学する人を対象にした日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真・鈴懸の絵画(「兵庫の風物を描く」または「花を描く」をテーマにした小作品)の7部門からなる公募美術展です。新たな美の創造と、世代や分野を超えた人々の交流の場になることを目的としています。入場は無料です。個性あふれる力作の数々をお楽しみください。

- 会期 12月18日(木)~21日(日) 10時~17時(最終日は14時まで)
- 場所 原田の森ギャラリー本館 2階大展示室
- 入場料 無料
- 問い合わせ 当協会文化振興部 078-321-2002

個性豊かな  
力作ぞらり!

## 兵庫県美術作家交流展

ジャンルを超えた作家同士の交流や技術の研さんを目的とした展覧会で、洋画・日本画・書・工芸・彫刻・写真の各分野で活躍する19名の作家による意欲的な作品が発表されます。併催の兵庫ふれあい美術展とあわせてお楽しみください。

- 会期 12月18日(木)~21日(日) 10時~17時(最終日は16時まで)
- 場所 原田の森ギャラリー本館 2階大展示室
- 入場料 無料
- 問い合わせ 当協会文化振興部 078-321-2002



兵庫県立ピッコロ劇団第84回公演  
ピッコロシアタープロデュース

## シェイクスピア四大悲劇の一つ!

## リア王

老いとは? 血のつながりとは? 生と死の狭間でさまよう私たちに答えはあるのか?

ピッコロ劇団員と関西俳優陣が総力を挙げてお届けするピッコロシアタープロデュース第17弾。読売演劇大賞最優秀演出家賞など数々の演劇賞に輝き、日本を代表する演出家のひとり松本祐子氏を迎え、シェイクスピア四大悲劇のひとつ「リア王」に挑みます。ぜひ、ご期待ください!

- 作 シェイクスピア ■翻訳 河合祥一郎(角川文庫『新訳リア王の悲劇』) ■演出 松本祐子(文学座)
- 出演 〈ピッコロ劇団〉 孫高宏、森万紀、鈴木あぐり、有川理沙、浜崎大介、岡島大祐、吉村祐樹、三坂賢二郎、谷口遼、森好文、岡田力、今仲ひろし、鈴木大輝 〈関西俳優陣〉 や乃えいじ(PM/飛ぶ教室)、萬谷真之、森本遼、桑野颯太、清水聰之朗
- 日時 令和8年2月13日(金) 18時30分、14日(土) 11時・16時、15日(日) 11時・16時
- 場所 芸術文化センター 阪急 中ホール
- 入場料 〈全席指定〉 一般4,500円、大学生・専門学校生3,000円、高校生以下2,500円
- チケット予約開始 12月21日(日)
- 問い合わせ ピッコロ劇団 06-6426-8088 ※関連企画は3面参照

芸文センター 阪急 中ホールで



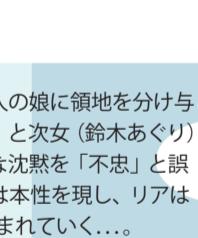
孫 高宏



森 万紀



鈴木あぐり



有川理沙

## ものがたり

プリテンの王・リア(孫高宏)は老いを迎え、3人の娘に領地を分け与えようとする。言葉巧みに愛を語る長女(森万紀)と次女(鈴木あぐり)に対し、末娘コーディーリア(有川理沙)の誠実な沈黙を「不忠」と誤解し、彼女を勘当してしまう。やがて長女と次女は本性を現し、リアは国を追われて荒野をさまよい、狂気の淵に追い込まれていく…。

## 令和7年度 伝統文化体験教室

## 『お箏のススメ』

日本独特の情緒を表現する伝統楽器・箏を広く体験していただく講座です。お箏の基本的な説明を聞き、実際に弾いてみましょう。素敵な音色が響いてきます。和の音色を楽しんでみませんか?

- 日時 令和8年2月28日(土) 13時30分~15時30分
- 場所 兵庫県公館103号室(神戸市中央区下山手通4-4-1)
- 講師 兵庫県箏絃連盟会員
- 定員 15名(先着順) ■参加費 無料
- 申し込み お申込みフォームまたは電話※二次元コードからお申込みできます。
- 問い合わせ 当協会文化振興部 078-321-2002

申し込みは  
こちらから

## ひょうごアーティストサロン ミュージアムコンサート

## 尾崎 夏子 マリンバコンサート



兵庫県にゆかりのある若手音楽家によるコンサートです。国内外で多数の受賞歴があり、現在、東京音楽大学研究生の尾崎夏子さんによる、豊かな音と響きと迫力のマリンバ演奏をぜひお楽しみください♪

- 日時 12月13日(土) 14時~14時30分
- 場所 横尾忠則現代美術館1階
- オーブンスタジオ
- 出演 マリンバ/尾崎 夏子 ■入場料 無料
- 問い合わせ 当協会文化振興部 078-321-2002

12月の伝統文化、  
地域の祭り・イベント

赤穂義士祭/12月14日(日) 10時~16時頃(予定)/赤穂城跡(赤穂市上仮屋1)ほか/赤穂義士たちが討ち入りを果たした日に開催される赤穂市最大のイベントで、今年は122回目。元禄絵巻ながらのパレード、忠臣蔵ゆかりの市町の特産品などが集まる物産市、露店販売が実施されます。義士行列には俳優の内藤剛志さんが大石内蔵助役で出演します。

## 令和7年度 兵庫県文化賞

### 【受賞者のご紹介】



いいむろ なおきさん (53)

マイム俳優=渡仏してマイムやコンテンポラリーダンスを学ぶ。国内外で集団マイム劇を上演。ピッコロシアター演劇学校等の講師を務め、令和2年のパラリンピック開会式にも出演しました。



上田 拓司 (うえだ・たくじ)さん (66)

能楽師=観世流シテ方。幼稚園から老人大学までさまざまな形での能の普及に尽力。能楽協会神戸支部で常議員、支部長を歴任し、能楽の普及と発展に貢献しています。



北浦 洋子 (きたうら・ようこ)さん (69)

ヴァイオリニスト=西宮市少年少女合奏団団長を務めるほか、「アンサンブルレガーメ」として定期的に演奏活動を展開。大阪音楽大学などで教鞭をとり、後進の指導・育成に貢献しています。



やなぎ みわさん (58)

美術家=写真や映像による美術作品を発表し、ジェンダーや老いなど今日的な問題への鋭い批評性が国内外で評価される。近年は野外劇など舞台表現にも取り組み注目されています。



矢野 正浩 (やの・ただひろ)さん (60)

指揮者=フルート奏者として活躍後、阪神・淡路大震災の仮設住宅などの慰問演奏を機に室内オーケストラ「アンサンブル神戸」を創設し、クラシック音楽文化の発展に貢献しています。

## 令和7年度 兵庫県芸術奨励賞

### 【受賞者のご紹介】



高木 日向子 (たかぎ・ひなこ)さん (36)

作曲家=作曲家として各種賞を受賞し、新進気鋭の音楽家たちによる「おとみらいHYOGO」の発起人として音楽文化の振興とネットワークづくりに貢献しています。



谷原 菜摘子 (たにはら・なつこ)さん (36)

画家=物語の中に投影された自画像を通じ、暴力や差別、疫病といった社会問題、戦争などを寓意的に表現し、マンガからの影響を受けるなど、独創的な作品を制作しています。



皆川 隼人 (みなかわ・はやと)さん (35)

チェロ奏者=ニュルンベルク国立音楽大学に留学し、大阪音楽大学を優秀賞で卒業。リサイタルや弦楽四重奏公演のほか、ひょうごアーティストサロン事業にも協力しています。

## 令和7年度 地域文化功労者大臣表彰

### 【受賞者のご紹介】



天野 富美男 (あまの・ふみお)さん (72)

美術家(高砂市)=自己研さんの場として「高砂市教育美術展」を企画運営。日展特別会員で、骨太い具象絵画の創造を目標に活動するなど絵画の振興に貢献しています。



藤田 貫 (やぶた・ゆたか)さん (77)

県立歴史博物館前館長(大阪府)=国の文化財指定の審査に関わるなど文化財の保存活用に貢献。歴史文化遺産の着実な継承と兵庫の未来の架け橋となる博物館づくりに尽力されました。



尾崎獅子舞保存会 (おさきししまいほぞんかい) (赤穂市)

県指定無形民俗文化財の保存と継承に尽力するとともに、長きにわたり赤穂八幡宮獅子舞の伝統を守り、日本遺産の構成文化財になるなど、地域文化の発信に貢献しています。

※上記各賞は、50音順(個人・団体別)、年齢は表彰期日時点

北播磨=細田 佳代子(合唱)、加古 俊信(伝統芸能)▶中播磨=香寺太鼓(伝統芸能)、伊藤 恵美(朗読)▶西播磨=横田 伸一(文芸)、塚田 英夫(合唱)  
但馬=西野 桃笠(書道)、波多野 富則(郷土史研究)  
丹波=加藤 昌男(版画)、丹波市立文化ホールオペレータークラブ ZERO-IV(文化施設運営)  
淡路=柏木 秀樹(伝統芸能)、小笠原 伊佐子(日本舞踊)

## 令和7年度 ともしびの賞

### 【受賞者のご紹介】(敬称略)

神戸=津村 克子(絵画)、花柳 伊奈輔(日本舞踊)、濱崎 加代子(声楽)  
阪神南=壽 文寿(落語)、森岡 秀人(考古学研究)  
阪神北=宝塚だんじり連合保存会(民俗芸能)、森田 耕山(音楽)  
東播磨=喜舎場 武司(文芸)、高砂市ため池協議会(自然保護)

## 催物情報

## イベントガイド



### ひょうごアーティストサロン

※入場無料

☎078-321-2005



▶「兵庫県書作家協会選抜展」(サロン内ギャラリー) 12月1日(月)~2026年1月31日(土)  
兵庫県書作家協会会員6人による作品6点を展示  
※水・土・日・12月1日(月)・9日(火)・29日(月)から1月3日(土)、12日(月)、27日(火)は休室  
1月14日(水)・31日(土)は開室

### 原田の森ギャラリー

※入場無料

☎078-801-1591



▶現代童画会'25 関西展 併催: 関西支部展 (本館1階)

絵画・工芸・デザイン約160点

▶創元会兵庫作家展 (東館1階) 油彩・水彩・アクリル約50点

▶創作 ORIGAMI 展 (東館2階) おりがみ約100点

▶第10回 New 飛鶴展 (本館2階) 書約90点

▶第77回 正筆展 併催: 第17回 暢心展 (全館) 書約600点

▶第102回 弦月会展 (東館1・2階) 油彩・アクリル約43点

▶2025年度 ピエンナーレ武蔵美 HYOGO (本館1階)

絵画・写真・工芸ほか約85点

▶第31回 兵庫ふれあい美術展 併催: 兵庫県美術作家交流展 (本館2階)

書・絵画・写真・工芸ほか約260点

▶第12回 白洋会展 (東館1階) 油彩・水彩・日本画約30点

▶第16回 娱憲文会展 (本館1階) 書・篆刻約100点

▶可能性のとびら (障害者アートギャラリー)

ペーパーカーリング・パステル画・デジタルアートほか約40点

12月3日(水)~7日(日)

12月3日(水)~7日(日)

12月3日(水)~7日(日)

12月5日(金)~7日(日)

12月13日(土)~14日(日)

12月16日(火)~21日(日)

12月17日(水)~21日(日)

12月18日(木)~21日(日)

12月23日(火)~28日(日)

12月26日(金)~28日(日)

~12月28日(日)



①希望プレゼント名 ②〒住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤友の会会員の方は  
会員番号 ⑥ご意見・ご感想を明記し、ハガキかFAXで送付。

\*応募締切後に抽選。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

\*応募者の個人情報の取り扱いについては(公財)兵庫県芸術文化協会で厳重に管理し、  
プレゼントの発送・関連するお問い合わせのみに利用いたします。

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7 神戸情報文化ビル2階  
(公財)兵庫県芸術文化協会「すずかけ」係 FAX 078-321-2139

### 横尾忠則現代美術館

☎078-855-5607



▶復活! 横尾忠則の髑髏まつり

髑髏をモチーフに、横尾作品にひそむ死の影を考察。2020年にコロナ禍で中止になった「横尾忠則の髑髏まつり」を再構成し、生と死が共存する新たな祝祭的風景を届けます。

※観覧料800円ほか【友の会割引あり】

▶ひょうごアーティストサロン ミュージアムコンサート

(1階オープンスタジオ)※入場無料

尾崎 夏子 マリンバコンサート

12月13日(土)14時~14時30分

【お問い合わせ】(公財)兵庫県芸術文化協会☎078-321-2002

### 兵庫陶芸美術館

☎079-597-3961



▶特別展「丹波焼の美 -田中寛コレクションを中心として-」

12月6日(土)~2026年2月23日(月・祝)

開館20周年を記念し、当館コレクションの母胎である田中寛コレクションを中心に平安時代末期に誕生して発展を遂げた丹波焼の歩みを紹介し、その魅力に迫ります。

※観覧料700円ほか【友の会割引あり】

5組10人にチケットプレゼント。締切12月18日(木)必着

### 宝塚文化創造館 すみれ♪ミュージアム

☎0797-87-1136



▶2025年企画展 宝塚歌劇の設計図2~台本に込める想い~

~2026年4月12日(日)

総合芸術の最高峰にある宝塚歌劇の世界はどのように創られていくのか。舞台を形成する設計図と言える「台本」「衣装デザイン」などを通して作品に込められた想いを紹介します。

※入場料300円ほか【友の会割引あり】

5組10人にチケットプレゼント。締切12月18日(木)必着



これであなたもヨコオ博士!?

# 「大横尾辞苑」を開催



横尾忠則現代美術館は、横尾作品の世界を辞書仕立てで解説する展覧会「大横尾辞苑」を、令和8年1月31日から同館で開催します。

ひらがなの45文字、アルファベット26文字に準じた用語にちなんだ横尾の作品や資料など約130点を出品。横尾の人生を彩るエピソードや、交友関係を反映した作品、科学のみでは捉えきれない精神世界、死の問題に関するものも数多く収録しています。「アストラル体」や「原郷の森」など用語の意味をひも解きながら、関連する横尾作品を深掘りしてみませんか。

■会期 令和8年1月31日(土)～5月6日(水・振休) 10時～18時

■休館 月曜日 ※2月23日(月・祝)、5月4日(月・祝)は開館、2月24日(火)は休館

■場所 横尾忠則現代美術館

■観覧料 一般800(600)円、大学生600(450)円、70歳以上400(300)円、高校生以下無料

※( )内は20人以上の団体割引料金【友の会割引あり】

■問い合わせ 横尾忠則現代美術館 078-855-5607

【キュレーターズ・トーク】  
〈講師〉横尾忠則現代美術館学芸員  
〈日時〉2月8日(日)、3月8日(日)、4月18日(土)  
※いずれも14時～14時45分  
〈場所〉横尾忠則現代美術館オープンスタジオ  
〈参加費〉無料



《三島由紀夫とR.ワーグナーの肖像》  
1983年 横尾忠則現代美術館蔵



読者プレゼント

大横尾辞苑の招待券を抽選で5組10人に。  
応募方法は本紙2面。12月18日(木)必着。

芦屋市立美術博物館の外観



芦屋市南部の住宅地に、斬新なデザインが目を引く芦屋市立美術博物館があります。2階建ての横長で、中央は吹き抜けの円形ホール、2階のホワイエの大きな半円形のガラス窓が特徴的です。

開館は1991(平成3)年。戦前の1940(昭和15)年に誕生した芦屋市の市制50周年記念事業として開館した、美術部門と歴史部門を併せた複合施設です。芦屋ゆかりの芸術家の作品を中心に鑑賞でき、芦屋の自然や歴史を学べる場となることを目指しています。

収蔵品は、美術関連が絵画を中心に約1500点、歴史関連が約500点。年に4回ほどテーマを決めた特別展が開催され、その都度観覧料は異なります。また、2年に1度開かれる公募展の芦屋市展など、無料の展覧会もあります。

展示室は2階に2室、1階には常設展示の歴史資料展示室があります。歴史資料展示室では、弥生時代の会下山遺跡、芦屋廃寺跡など古代からの芦屋の歴史が資料とともに紹介されています。

美術作品収集の主な対象は芦屋にゆかりのある芸術家たちです。1926(大正15)年に、芦屋に居を構えた日本を代表する洋画家の小出檜重(1887～1931)と、交流のあった画家や、1930(昭和5)



## 美人画の浮世絵コレクション展を開催



★おすすめスポット★  
たづね歩き

年に芦屋カメラクラブを結成し新興写真運動を展開した中山岩太、ハナヤ勘兵衛ら写真家の作品も収蔵しています。

また、戦後の芦屋では1954(昭和29)年に具体美術協会「具体」が結成されました。代表の吉原治良(1905～1972)をはじめ、嶋本昭三、山崎つる子、正延正俊ら創立メンバーに加え、後に合流する白髪一雄、元永定正ら関西の若手作家たちが先鋭的な表現を果敢に追求しました。館では「具体」の18年間の活動に焦点を当てた展覧会を開いています。

12月6日から2月8日までは、浮世絵約100点を展示する「徹底解剖! 浮世絵で見る江戸のライフスタイル」が開かれます。大正時代、芦屋に在住していた商社員の片岡長四郎氏が海外で収集し、美術博物館に寄託した美人画コレクションによる展覧会です。

江戸後期の文化文政年間から幕末にかけて活躍した歌川国貞、渓斎英泉、長谷川貞信や明治期の月岡芳年らの作品について、担当学芸員は「国貞が描く美人は勝ち氣で健康的、英泉の美人は儂げと、違いを見比べるのもおもしろいです」と話します。美人とともに描かれた衣服や髪型、障子やふすま、うちわ、硯箱、三味線、琴、化粧筆などの品々も見どころです。

### 小出檜重のアトリエを復元

敷地内の庭の一角に、復元された小出檜重のア



歌川国貞「当世好すがたのあつらへ 柳楼小ゑつ」  
慶応3年(1867)個人蔵



### おでかけ ちょっとメモ

▶芦屋市立美術博物館 = 芦屋市伊勢町12-25。開館時間は10時～17時(入館は16時半まで)。休館は月曜(祝日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始(12月28日～1月5日)、展示替え期間中。観覧料は展覧会により異なる。「徹底解剖! 浮世絵で見る江戸のライフスタイル」は一般1,000円(800円)、大高生600円、中学生以下無料。( )内は当協会友の会料金。阪神芦屋駅から徒歩約15分。阪神芦屋・JR芦屋・阪急芦屋川の各駅から阪急バスに乗車、緑町(美術博物館前)停留所下車、徒歩約3分。0797-38-5432

トリエがあります。小出は43歳で急逝するまでの5年間の芦屋暮らしで、裸婦像に代表される名作の数々を描きました。木立に囲まれた建物内にはテーブルやソファ、愛用の画材などが展示され、開館中は無料で見られます。



小出檜重アトリエ



特別展「徹底解剖! 浮世絵で見る江戸のライフスタイル」の招待券を抽選で5組10人に。応募方法は本紙2面。12月18日(木)必着。

ワンランク上の  
プレミア・  
プログラム

兵庫でサステナブル体験!  
ひょうごフィールドパビリオン

丹波 里山の酒蔵・  
西山酒造場で 丹波を味わい、発酵を学ぶ



◎蔵元や高浜虚子が詠んだ俳句が彫られた句碑を

巡る酒蔵見学

◎利き酒講座、日本酒の飲み比べ

◎丹波の食材と発酵食品を使用した料理を丹波焼で味わうフルコース など

